

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2024-4002	利用形態	AMED (S24-002)		
研究題目	非小細胞肺癌における空間トランスクリプトーム解析に関する 多施設共同研究(3)		研究期間	承認日 ~ 2025年3月31日	
主たる研究機関	東京大学大学院		責任者 氏名・職	鈴木 絢子	准教授
分担研究機関	-		責任者 氏名・職	-	-
研究目的と意義	本研究では、非小細胞肺癌の手術切除検体を用いて、空間トランスクリプトームという新規オミクス計測技術や次世代シーケンサー等の大規模計測機器を駆使して一連のオミクス解析を実施する。特に、先行研究にて培養細胞モデル系およびバルクの解析により明らかになっているさまざまな分子生物学的特徴に関して、空間情報を考慮した組織標本上においてもその発現状況を確認し、それぞれの特徴に紐づけられた付随情報(薬剤感受性等)を局所がん組織上に展開する。また、本研究にて得られる空間的オミクス情報によってはじめて明らかとなるがんの特徴をカタログ化し、病理組織学的情報および臨床情報との関係性を明らかにする。 本研究の解析によってがん組織の不均一性・微小環境状態を正確に記述し、局所がん組織の空間的オミクス情報および病理組織学的情報に基づいた新しい形の患者層別化手法および治療標的を探索することを目指す。				
研究計画概要	組織から抽出されたDNA・RNAあるいは蛋白質を用いて、非小細胞肺癌細胞における変異、欠失、増幅、過メチル化等のゲノム異常や遺伝子の発現動態を解析する。 また、ToMMoより提供されるゲノムデータを用い、Germline由来のSNPs、SVsの除去を行うことで、体細胞突然変異、あるいは構造異常の検出精度をあげる。 なお、本研究は国立がん研究センター東病院を主とする多機関共同研究であり、東京大学でToMMoデータの解析後、個人特定性を有しない要約統計量のみを国立がん研究センター東病院に提供する。				
利用試料・情報	対象:東北大学メディカルメガバンクのコホート参加者全員 試料:なし 情報:基本情報、全ゲノム情報				
期待される成果	非小細胞肺癌の発生・進展の分子機構や特性の全ぼうを明らかにし、新たな予防・診療法の開発に資する情報を得られることが期待される。				
倫理審査等の経過	2024年11月22日 東京大学倫理審査専門委員会				
倫理面、セキュリティ面の配慮	分譲された情報は、ToMMoのセキュリティ・ポリシーに沿って、研究に関わる者以外のアクセスができない環境に保存したうえで解析する。				
その他特記事項					
	*公開日 2025年2月18日				